



New Technique! Fast measurement of NO & NO₂

New!

エントリーレベル高速応答NO & NO₂分析計

- 過渡時のエンジン排気ダイレクト計測
- 超高感度 & 高応答の大気環境計測

- NOとNO₂を個別に高速計測
- 最速 **15ms** の応答性(T_{10-90%})
- 2つの計測モード
 - ダイレクト排気計測
 - 大気環境計測

- 感度: 5ppb~5000ppmの間を8レンジ
- ポータブル設計 (17.2kg / 45 × 37 × 13 cm)
- 10Hzデータロギング機能
- 出力: アナログ0-10V, 100Hz & 10Hz(標準)
AKプロトコル(オプション)

2021年に誕生したCLD50は、エンジン排気計測と大気環境計測向けに、それぞれ15msと100msの応答性でNOとNO₂を計測します。

ダイレクト排気計測モード

CLD50は、酸素ポンプと電源があればNOとNO₂をダイレクトに計測可能です。

15msの応答性を発揮するダイレクト排気計測モードの代表的なアプリケーションには、触媒前後のエンジン排気NO計測、SCRの開発、排気後処理装置の改造や調査、エンジン始動試験があります。

大気環境計測モード

Cambustionは、高速リアルタイムデータを大気環境計測に求める多くの研究者の要望に応じて超好感度かつ高応答なCLD50を開発しました。

100msの応答性と5ppbの検出下限値を両立する大気環境計測モードは、実際の人間が通過車両や、その他の汚染源によって曝されている状況をより詳細に捉えることができます。

CLD50は、道路施設やクリーンエアゾーンの評価や、様々な長さの加熱または非加熱サンプルラインによる車両の追跡計測を含んだオンボードアプリケーションに適しています。





Cambustion公式チャンネル

<https://www.youtube.com/user/cambustionuk>



ガソリンエンジン始動時のNOと空燃比の相関



信号機付近で加速する車両と大気中のNOx



走行時に空調を通じて車内に侵入するNOx



サイクリストが吸い込む大気中のNOx

仕様

計測原理	NO: 化学発光法 (CLD) NO ₂ : レーザ誘起蛍光法 (LIF)
チャンネル数	1
サンプルライン	最長3m, 加熱または非加熱
応答性	15ms: ダイレクト排気計測モード 100ms: 大気環境計測モード
サンプル圧力	0.8 - 1.3 bar abs
感度 (計測範囲), レンジ	5ppb~5,000ppm, 8レンジ
キャビネット寸法, 重量	W450 x D370 x H130mm, 17.2kg
出力	アナログ: 0-10V, 10Hz & 100Hz デジタル: 10Hz または AK
ガスユーティリティ	純酸素, N ₂ ガス スパンガス: NO, NO ₂
校正ガス消費量	7L/min
電源	90-240V 50/60Hz 350W max

仕様は予告なく変更されることがあります

製造:

Cambustion
cambustion.com
support@cambustion.com

国内総代理店:

森村商事株式会社
MORIMURA BROS., INC.
morimura.co.jp
cambustion@morimura.co.jp

国内技術サポート:

サステナブル・エンジン・リサーチセンター
Sustainable Engine Research Center (SERC)
serc.co.jp
cambustion@serc.co.jp

ソフトウェア操作画面

